

ひがしおうみ健康ウォーキングマップ

楽しく歩いて健康づくり！
百済寺コース（愛東地区）

東近江市

① 愛東支所

② 引接寺

天台宗の寺院で、百済寺の末寺にあたり、織田信長の焼き打ちで資料が焼失してしまったため、いつ建立されたかはっきりとはわかりません。百済寺を再興した亮算(りょうさん)の弟子・亮誉(りょうよ)が開山し、現在の地に寺院を建立したといわれています。庭園の奥にある来迎浄土は付近の山野に散在していた石仏や石塔を集め、昭和61年に造られたもので、三層になっていて、大石塔を中心に二千体の石仏と三千基の五輪塔を安置し、毎年8月22日に万灯供養が行われます。その様子はとても幻想的で東近江市の夏の風物詩として有名です。

③ 百済寺

今から1400年前の推古14年(606)に、渡来人のために聖徳太子が創建された近江の最古刹です。像高2.6mの十一面観音を本尊とし、御堂は百済の龍雲寺を模して創建されました。境内地には、落葉樹:約5,000本、常緑樹:約25,000本が自生します。百済寺の紅葉風景は、「日本紅葉百選」と「近畿五大紅葉名所」の選ばれました。
入山・拝観料:大人500円/中学生300円/小学生100円 拝観時間:8:00~17:00

④ 菜の花館

資源循環型の地域づくりを進める拠点施設です。全国に広がる「菜の花エコプロジェクト」は、1998年に愛東から始まった地域内循環モデルであり、地域自立を促すプロジェクトでもあります。
菜の花エコプロジェクト=平成8年(1996)から資源として瓶、缶などと一緒に回収している廃食油を燃料化する取組を行って来ました。その取組をベースに平成10年から、「菜の花」を栽培し、収穫した種から油をしぼり、学校給食や一般家庭で食用油として使用したあとの廃食油をバイオディーゼル燃料に精製し、ディーゼル車等の燃料として使用。排出された二酸化炭素は菜の花の成長により吸収されるという資源循環型プロジェクトである。

⑤ あいとうマーガレットステーション

農産物の流通・加工、人的交流、観光、情報の5つを統括した田園公園化の拠点として、平成7年10月にオープンしました。メイン施設の「田園生活館」は英国風の建物で、「新しい豊かな田園生活」を施設全体で提案します。田園生活館には、花工房やショップ、レストラン、田園ビューデッキがあります。農産物を販売する「あいとう直売館」は平成21年にリニューアルされ、四季折々の野菜、果樹(メロン・ぶどう・梨等)を販売します。「田園生活館」に隣接する「ラプティ」では、地元農畜産物を利用して、ジェラートやクッキーなどの販売を行なっています。

作成 東近江市体育指導委員協議会
Tel.0748-24-5674



④ 菜の花館



⑤ あいとうマーガレットステーション



いんじょうじ まんとくろう
引接寺と万燈供養

百済寺を再興した亮算の弟子・亮誉が開山。現在の地に天台宗の寺院を建立したといわれています。万燈供養は、百済寺から集められた石仏、約6,000体に灯りをつけ供養するもので、夏の風物詩として有名です。
MAP/P48G-5 ☎0749-46-1285
東近江市上山町312 近江鉄道八日市駅から湖園バス「百済寺」下車徒歩10分

